MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2020/07/13 号(As of 2020/07/10)

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.10 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.25	1.1289	121.04	1.2606	0.6961
SYD-NY High	107.26	1.1325	121.04	1.2665	0.6968
SYD-NY Low	106.64	1.1255	120.31	1.2569	0.6924
NY 5:00 PM	106.91	1.1299	120.78	1.2620	0.6951

NY DOW	26,075.30	369.21	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,617.44	69.69	日本10年債	0.010	▲1.00bp
S&P	3,185.04	32.99	米国2年債	0.156	0.41bp
日経平均	22,290.81	▲ 238.48	米国5年債	0.303	2.07bp
TOPIX	1,535.20	▲ 22.04	米国10年債	0.641	2.87bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,630.00	210.00	独10年債	-0.4695	▲0.70bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,095.41	45.79	英10年債	0.1540	▲0.40bp
DAX	12,633.71	144.25	豪10年債	0.8760	▲3.90bp
ﾊﾝｾﾝ指数	25,727.41	▲ 482.75	USDJPY 1M Vol	5.53	0.24%
上海総合	3,383.32	▲ 67.27	USDJPY 3M Vol	6.12	0.05%
NY金	1,801.90	▲ 1.90	USDJPY 6M Vol	7.25	0.14%
WTI	40.55	0.93	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	141.52	1.06	EURJPY 3M Vol	7.40	▲0.05%
ドルインデックス	96.65	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	8.05	0.03%

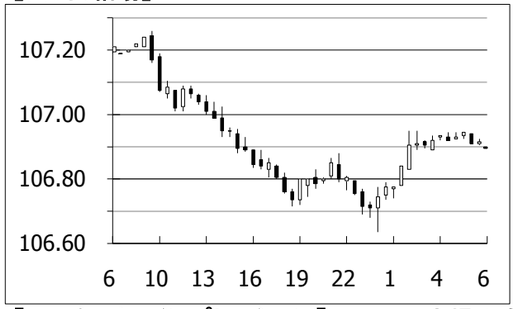
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
7月10日	21:30	米	PPI最終需要（前月比/前年比）	6月	-0.2%/-0.8%	0.4%/-0.2%

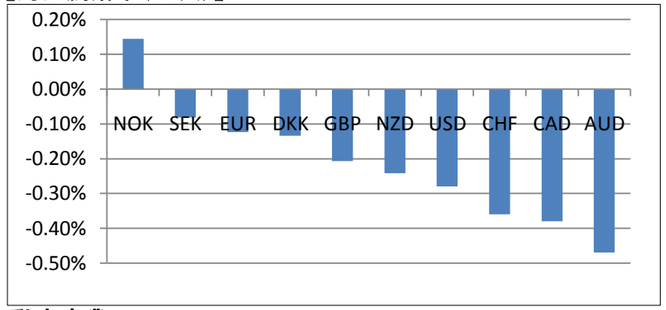
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月14日	00:30	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁　講演	-	-	-
	02:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁　講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



東京	東京時間は107.25ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方に付けた107.26を高値にじりじりと下落。一時106.88と6月26日以来2週間ぶりの安値を付けた。ﾕｰﾛ円も下落するなどｸﾛｽ円の下落が目立ったが各地の豪雨被害に損保が保険金支払いに備え海外資産を売却して円資金を捻出しているとの思惑も出ている。106.89ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は106.89ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝし、早朝は、東京時間で観測されたﾘｽｸ回避の円買いが継続し、106.72まで下落。欧州主要株価指数が高に転じると円買いが和らぎ、80銭台まで戻した。結局106.85ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2585ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝし、ﾘｽｸｾﾝﾁﾒﾝﾄの改善を受け、午前中は堅調推移。1.2625まで水準を切り上げると利益確定とみられるﾎﾟﾝﾄﾞ売りが優勢となり、反落。1.26台定着できず、1.2599ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	米国でのｺﾛﾅ感染者数が引き続き増加していることから逃避として米長期債買いが強まり、米金利低下を受けﾄﾞﾙ売りが強まる中、連騰していた中国株が、過熱感を抑えるため政府系ﾌｧﾝﾄﾞが保有する株を売却する予定と発表したことや、大統領候補のﾊﾞｲﾃﾞﾝ氏が、株主の為の資本主義の時代は終わるとの発言をしたこともあり、円買いも優勢となり、海外市場でﾄﾞﾙ円は106.72まで下落し、106.85ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米6月PPIが予想を大きく下回ったものの、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的となるが、米ﾊﾞｲｵ製薬会社が開発している薬が、ｺﾛﾅ感染での死亡率を62%下げられる可能性があることを発表し、ﾘｽｸ志向のﾄﾞﾙ売りが優勢となり、106.64まで下落する。その後はﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が現時点での第2段階の米中貿易合意の可能性が低いとの見解を示し、ﾄﾞﾙが買い戻される展開に、ﾄﾞﾙ円は下げ渋る。午後は、週末を控え106.90付近での閑散な推移が続き、106.91ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは中国株が軟調に推移しﾕｰﾛ円が下落する動きに1.1255まで下落するが、その後はﾄﾞﾙ売りに値を戻し、1.1287ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は再びﾄﾞﾙ売りが持ち込まれ、1.1325まで値を戻すものの、中国が南ｼﾅ海で強行した軍事演習などに対して、ﾄﾗﾝﾌﾟ政権が来週公式な立場を発表することが報道され、ﾘｽｸ回避のﾄﾞﾙ買いが優勢となり、1.1296まで反落する。終盤に掛けては、週末を控え、狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、終了間際になって米国がﾌﾗﾝｽに対し新たに約13億ﾄﾞﾙ相当のﾌﾗﾝｽ製品に対する25%の関税ﾘｽﾄを発表とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが伝わるが、引け際であったことから大きな反応はなく、1.1299ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【マーケット・インプレッション】　ASEAN市場の自動車産業

COVID-19の影響により、海外に生産拠点を持つ日系自動車企業の工場も生産を停止していたところが多かったが、各国のロックダウン解除や経済再開に伴い、現在はほとんどが生産を再開しているようだ。世界の自動車販売は大きく落ち込んでおり、日系企業のシェアが高いASEAN市場においても減速は顕著なものとなっているが、それぞれの国の自動車産業の特徴と今後について考えてみたい。タイでは日本車のシェアが8割程度と高いが、緩やかなロックダウンであったことからASEANの中では販売台数の減少は抑えられた形だ。タイは長期にわたり自動車産業の育成に取り組んできたため、域内でも最高水準のサプライヤー集積地となっており、生産台数が国内販売台数を大きく上回っている。国内販売では自動車金融利用率が高くデフォルトが増加したこともあり、自動車金融融資が厳格化されたことや今後中長期的に生産年齢人口の減少や高齢化の進行により販売台数の伸びは限定的となる可能性がある。また、中長期的に進むバーツ高はタイからの輸出に悪影響となることも予想される。インドネシアは日本車のシェアが9割を超えているが、販売台数は大きく落ち込んでいる。インドネシアの自動車産業も拡大しており、現状ではタイよりも輸出台数は少ないものの、国内販売においては二輪車から四輪車へのシフトや人口増により更なる拡大が見込まれる地域の一つとなっている。フィリピンでは、国内での生産よりも輸入車が多い状況となっている。国内自動車需要は今後も高まる可能性が高いものの、インフラが未整備なフィリピンで生産拠点を拡大するメリットは乏しい。ベトナムにおいても自動車需要が今後も増加する可能性が高い一方、生産拠点としては地理的なメリットがあるものの長期的な展望となりそうだ。今後、COVID-19で影響を受けた日系自動車企業が今後グローバルに選択と集中を進め、日系企業のシェアの高いASEAN地域(特にインドネシア、タイ)での販売に力をさらに入れていく可能性があり、一方生産においてはサプライチェーンの見直しを行っていく可能性もあるだろう。(高根)

■今週のドル/円　見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：高根・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

OneMIZUHO 未来へ。お客さまとともに